

事務事業評価の第三者評価 評点一覧

1-1 地域集会所維持運営事業						
	5:妥当性が非常に高い	4:妥当性が高い	3:概ね妥当	2:妥当性がやや低い	1:妥当性が低い	部会の評価結果
成果指標		1	1	3		2
総合評価		1	4			3
委託化・民営化		3	2			4
方向性		3	2			4

1-2 商店街振興事業（活性化支援）						
	5:妥当性が非常に高い	4:妥当性が高い	3:概ね妥当	2:妥当性がやや低い	1:妥当性が低い	部会の評価結果
成果指標			1	4		2
総合評価			2	3		2
委託化・民営化			2	3		2
方向性		1	4			3

1-3 防災関係事務						
	5:妥当性が非常に高い	4:妥当性が高い	3:概ね妥当	2:妥当性がやや低い	1:妥当性が低い	部会の評価結果
成果指標		2	2	1		3
総合評価		1	3	1		3
委託化・民営化		2	2	1		3
方向性		4	1			4

1-4 開発および相隣調整事務						
	5:妥当性が非常に高い	4:妥当性が高い	3:概ね妥当	2:妥当性がやや低い	1:妥当性が低い	部会の評価結果
成果指標			2	2	1	2
総合評価		2	3			3
委託化・民営化		2	3			3
方向性		3	2			4

1-5 地域まちづくり推進事務（大泉学園駅）						
	5:妥当性が非常に高い	4:妥当性が高い	3:概ね妥当	2:妥当性がやや低い	1:妥当性が低い	部会の評価結果
成果指標			5			3
総合評価	1	3	1			4
委託化・民営化		4	1			4
方向性		5				4

1-6 交通施設整備計画推進事務（みどりバス事業）						
	5:妥当性が非常に高い	4:妥当性が高い	3:概ね妥当	2:妥当性がやや低い	1:妥当性が低い	部会の評価結果
成果指標		2	2	1		3
総合評価		3	2			4
委託化・民営化		1	3	1		3
方向性		2	3			3

事務事業評価の第三者評価 評点一覧

2-1 高齢者福祉施設等助成事務						
	5:妥当性が非常に高い	4:妥当性が高い	3:概ね妥当	2:妥当性がやや低い	1:妥当性が低い	部会の評価結果
成果指標		1	2	1	1	3
総合評価		1	3	1		3
委託化・民営化	1	2	1	1		4
方向性	1	1	3			4

2-2 自立支援給付事務・自立支援負担軽減事務・障害児支援給付事務						
	5:妥当性が非常に高い	4:妥当性が高い	3:概ね妥当	2:妥当性がやや低い	1:妥当性が低い	部会の評価結果
成果指標		5				4
総合評価		4		1		4
委託化・民営化	1	1	2	1		3
方向性	1	3	1			4

2-3 認証保育所事務						
	5:妥当性が非常に高い	4:妥当性が高い	3:概ね妥当	2:妥当性がやや低い	1:妥当性が低い	部会の評価結果
成果指標			3	2		3
総合評価			5			3
委託化・民営化			4	1		3
方向性		2	3			3

2-4 学校応援団・開放等事業						
	5:妥当性が非常に高い	4:妥当性が高い	3:概ね妥当	2:妥当性がやや低い	1:妥当性が低い	部会の評価結果
成果指標			2	3		2
総合評価		1	4			3
委託化・民営化		4	1			4
方向性		4	1			4

2-5 学校給食運営事務（食育も含む）						
	5:妥当性が非常に高い	4:妥当性が高い	3:概ね妥当	2:妥当性がやや低い	1:妥当性が低い	部会の評価結果
成果指標			2	2	1	2
総合評価			3	2		3
委託化・民営化			4	1		3
方向性	2	2	1			4

2-6 電算システム運用事務（住民情報システム等運用事務）						
	5:妥当性が非常に高い	4:妥当性が高い	3:概ね妥当	2:妥当性がやや低い	1:妥当性が低い	部会の評価結果
成果指標			3	2		3
総合評価		1	2	2		3
委託化・民営化			4	1		3
方向性		2	3			3

平成25年度 事務事業評価の第三者評価 コメント・改善点まとめ(案)

1-1		地域集会場維持運営事業
	評価	コメント・改善点
成果指標	2	利用件数・利用者数・稼働率といった量的な指標について検討すること。仮に満足度を指標とする場合は、アンケートは幅広い利用者を対象としたものとする。
総合評価	3	良好に進んでいるとの評価は妥当だが、評価理由を成果・効率性・必要性を踏まえた記載すると理解度が高まる。
委託化等の方向性・協働の可能性	4	すべての施設の運営委託を実施しており、評価が妥当。
事業の方向性	4	「継続」とする評価は妥当だが、総合評価や改革・改善案などに事業を発展させる観点からの記述があるとよい。

1-2		商店街振興事業(活性化支援)
	評価	コメント・改善点
成果指標	2	目標値の設定については、納得性を得られるものとする。商店街振興という目的に寄与している指標としてリピーター率とできないか。
総合評価	2	成果指標の目標が低い設定となっているため、総合評価も甘い評価となっている。成果・効率性・必要性を踏まえた評価理由が必要。にぎわい商店街支援事業来街者数が年々減少していることに対する分析が必要。
委託化等の方向性・協働の可能性	2	協働事業に分類し、商店街(組合)との協働事業について検討すること。
事業の方向性	3	「継続」とする評価は妥当だが、商店街振興につながっているかを検証して、改革・改善に取り組む必要がある。

1-3		防災関係事務
	評価	コメント・改善点
成果指標	3	災害時における緊急初動要員の配置は重要であるが、目標の設定根拠を明確にするとよい。
総合評価	3	「概ね良好に進んでいる」とする評価は妥当だが、成果・効率性・必要性の観点からの記述があるとよい。
委託化等の方向性・協働の可能性	3	緊急初動要員の配置に限れば協働・委託化できないが、他の業務は検討が必要である。区民との連携や区民への周知では協働の要素もあるのではないかと。
事業の方向性	4	「継続」とする評価は妥当

1-4	開発および相隣調整事務	
	評価	コメント・改善点
成果指標	2	標識設置届出件数は、事業の成果を図る指標としては不適當である。事業の努力が適正に評価できる指標を採用すること。
総合評価	3	事業の取組内容は評価できるが、紛争予防の取組内容や、成果・効率性・必要性の観点からの記述があるとよい。
委託化等の方向性・協働の可能性	3	委託化や協働は非該当とする判断は妥当
事業の方向性	4	「継続」とする方向性は妥当だが、改革・改善案の記述が抽象的である。

1-5	地域まちづくり推進事務(大泉学園駅)	
	評価	コメント・改善点
成果指標	3	計画策定の進捗度を指数を設けて評価しているが、当初のスケジュール通り進んでいるのか等、意味が分かりにくい。
総合評価	4	事業は良好に進んでいると評価できるが、評価理由は成果・効率性・必要性を総合した記載となっているとよい。
委託化等の方向性・協働の可能性	4	専門性の高い分野での業務委託を活用している。
事業の方向性	4	必要な事業であり「継続」は妥当。

1-6	交通施設整備計画推進事務(みどりバス事業)	
	評価	コメント・改善点
成果指標	3	年間バス利用者数とすることは妥当だが、目標の設定にあたっては納得性が得られるものとする。
総合評価	4	事業は良好に進んでいると評価できるが、成果・効率性・必要性の観点からの記述があるとよい。
委託化等の方向性・協働の可能性	3	民間バス事業者は、バス運行に関するノウハウを有していることから、事業者との協働事業とすることを検討されたい。
事業の方向性	3	「継続」という評価は妥当だが、費用対効果の観点や利用者増加への取り組みの内容を総合評価や改革・改善案に記述があると理解しやすい。

平成25年度 事務事業評価の第三者評価 コメント・改善点まとめ(案)

2-1		高齢者福祉施設等助成事務
	評価	コメント・改善点
成果指標	3	成果指標は新規助成件数だが、新規助成によってサービスがどの程度向上したか(例えば「施設入居者総数の増加数」)などを指標とすると区民に更に判りやすい。
総合評価	3	事務の実施状況は良好と評価できるが、評価理由のみでなく、区民目線からの評価の記述があるとよい。
委託化等の方向性・協働の可能性	4	協働により事務を実施していることは評価できる。また、事業の性質上、委託化できないことも妥当である。
事業の方向性	4	国の政策に左右される事務の性質を考えると、外部要因についての記述があると納得感が高まる。

2-2		自立支援給付事務・自立支援負担軽減事務・障害児支援給付事務
	評価	コメント・改善点
成果指標	4	成果指標は、複数の事務を代表するものであり、客観性が高い。目標の設定理由の説明に工夫がほしい。
総合評価	4	事務の実施状況は良好と評価できるが、事務の必要性を詳しく記述すると納得感が高まる。
委託化等の方向性・協働の可能性	3	協働により事務を実施していることは評価できる。サービス支給決定のプロセスは公平性を保つために外部有識者の意見を取り入れる可能性を検討してほしい。
事業の方向性	4	事業の方向性を「拡大」としたことは妥当と評価できる。総合評価や改革・改善案に客観的なデータの記述があると理解が高まる。

2-3		認証保育所事務
	評価	コメント・改善点
成果指標	3	福祉サービス第三者評価の受審を進めることは理解する。ただし、受審率ではなく、受審した結果、指導等によって質が向上したことを成果指標とできればよい。
総合評価	3	受審率が上がっていることは評価できるが、その結果としての質の向上についての記述が望まれる。
委託化等の方向性・協働の可能性	3	認証保育所への助成する事務を委託化できないことは理解できるが、人の育成の観点から協働することは可能である。例えば、保育課が中心となり、練馬区の区立、私立保育園の人材を活用した質の向上のための職員教育の協働などがあるとよい。
事業の方向性	3	量としての「拡大」は妥当と評価できるが、質の拡大(充実)も検討すべき。また、総合評価や改革・改善案に国等の動向の記述があるとよい。

2-4		学校応援団・開放等事業
	評価	コメント・改善点
成果指標	2	子どもの居場所づくり事業と学校設備の活用の2つの活動が混在した成果指標であり、事業ごとの問題点が把握できない。 子どものニーズに応えることが最優先となる。その根拠となる数値を把握する必要がある。
総合評価	3	事業の実施状況が良好に進んでいると評価できるが、登録希望者数の増加等、具体的なデータの記述があるとよい。
委託化等の方向性・協働の可能性	4	すでに委託・協働を進めており評価は妥当である。
事業の方向性	4	「継続」との評価は妥当だが、総合評価や改革・改善案に社会的な背景等の記述があると納得度が増す。

2-5		学校給食運営事務(食育も含む)
	評価	コメント・改善点
成果指標	2	研修・講習会等へ参加している人数は、成果でなく実績の指標である。研修を受講した結果、どのように職員の技能の質の向上があったのかを指標とすべき。
総合評価	3	評価の元となる成果指標が適切でないため、総合評価の評価理由も、事務が良好に進んでいても、理解が得られにくい。
委託化等の方向性・協働の可能性	3	たとえば食育についての協働の可能性を検討できるのではないか。
事業の方向性	4	「継続」とすることは妥当だが、評価の記述内容を工夫することにより理解が深まる。

2-6		電算システム運用事務(住民情報システム等運用事務)
	評価	コメント・改善点
成果指標	3	オンライン停止時間を0時間とする成果指標は当然の目標であり、事業目的向上の観点から指標を設定するとよい。
総合評価	3	評価理由がハード面からの記述のみであり、ソフト面からの評価理由もあると理解が深まる。
委託化等の方向性・協働の可能性	3	一部、委託化であるが、さらに区民目線に立った委託化・協働の検討を行うとよい。
事業の方向性	3	「継続」でよいが、今後、外部の意見を取り入れたソフト面も含めた充実を期待する。